事業所名　グループホーム　あかり

令和３年度　第４回　運営推進会議報告書

開催日時　令和３年 11 月 16 日（火）	
参　加　者	議　　題
利用者　１名 利用者家族　９名 地域住民の代表者　２名 市職員　１名 はたやま地域包括支援センター職員　１名 柊訪問看護ステーション　１名 薬剤師　１名 事業所　３名	(1) 入居者状況 (2) 活動状況（９月、10 月） (3) 今後の予定（11 月、12 月） (4) 苦情・事故・ヒヤリハット報告 (5) 身体拘束の適正化について (6) ご意見・要望・提案・助言 (7) その他

会　議　録

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面開催を中止とし、各委員へ意見照会をしました。

（1）入居者状況

10 月 31 日現在　要介護１：０名　要介護２：３名　要介護３：２名
要介護４：４名　要介護５：０名　（計９名）
平均年齢　84.6 歳　平均要介護度　3.1

１名　10 月 30 日　愛知医科大学病院に入院されました。

（2）活動状況

・９月
- ・三浦内科クリニック往診　27 日(月)
- ・柊訪問看護ステーション訪問　２日(木)、７日(火)、28 日(火)
  15 日(水)（訪問リハビリ）
- ・青木歯科往診　２日(木)、16 日(木)
  22 日(水)（歯科衛生士）
- ・みゆきファーマーシー訪問　毎週１回（居宅療養管理指導…薬セット管理）
- ・ハート治療院訪問　週３回（希望者に訪問マッサージ治療）
- ・敬老会　20 日(月・祝)

※ 20 日(月・祝)の敬老会は、デイサービスと合同で行いました。
お饅頭を食べた後、皆でトランプゲーム(神経衰弱)を行いましたが、真剣に取り組み、楽しまれていました。

※ 職員の PCR 検査を１回実施し、その結果は、全員陰性でした。

・10月　・三浦内科クリニック往診　　25日(月)
　　　　・柊訪問看護ステーション訪問　5日(火)、12日(火)、19(火)、26(火)
　　　　・青木歯科往診　　　　　　　7日(木)、21(木)
　　　　　　　　　　　　　　　　　　27日(水)（歯科衛生士）
　　　　・みゆきファーマーシー訪問　毎週1回(居宅療養管理指導…薬セット管理)
　　　　・ハート治療院訪問　　　　週3回（希望者に訪問マッサージ治療）
　　　　・お誕生日会（1名）　　　　4日(月
　　　　・お楽しみテイクアウト　　　19日(火)　昼食（くら寿司）
　　　　・訪問理美容　　　　　　　25日(月)（2か月に1回）
　　　　・避難訓練・消防設備点検　　26日(火)

※　お誕生日会は、おやつの時間に合わせ企画しました。大きなケーキを目の前に置き、とてもうれしそうにされていました。お祝いの後で、トランプゲームをして楽しいひと時を過ごしました。

※　お楽しみテイクアウトは、好きなものを選んでいただき、外食気分を味わっていただこうと企画しました。ランチメニューの中から海鮮丼や天丼を選ばれていました。

※　訪問理美容の後のさっぱりした皆さんの笑顔は、格別です。

※　職員のPCR検査を1回実施し、その結果は、全員陰性でした。

（3）今後の予定（11月、12月）

・紅葉狩り、誕生日会など
・職員のPCR検査（11月中に1回実施）
・インフルエンザ予防接種（入居者、職員全員11月22日予定）
・山口連区防災訓練…11月21日(日)午前8時
・クリスマス会

（4）苦情・事故・ヒヤリハット報告

・苦情　　　　　0件
・事故　　　　　1件　10月下旬　落薬
　　　　　　　　夜勤者が掃除の時、ホールの床に落ちていた1錠の錠剤を発見
・ヒヤリハット　0件

（5）身体拘束の適正化について

・身体拘束なし
・eラーニング研修
「介護現場における事故・虐待・苦情を防ぐリスクマネジメントについて」
順次受講し、受講委報告書を提出し、情報共有につなげています。

（6）ご意見・要望・提案・助言

市職員から

・避難訓練について、どのような想定で実施されましたか。避難完了までに要した時間、課題・反省点等はどうでしたか。

→地震が発生、デイサービスキッチンから出火の想定で行いました。

屋外への避難完了後、整備点検業者から消火器の使用方法についての説明を聞き、利用者と職員が、水消火器を使って、消火器の使用を体験しました。

避難完了までに要した時間は、約８分でした。

課題は、入居者の認知症の症状、身体状況が異なるため、実際に避難が必要になった時にどのように避難していくのか、全職員がいざとなった時の優先順位、行動パターンを把握する必要性を再認識しました。

反省点としては、自立度の高い入居者の避難行動に対し、転倒リスクを想定し、全体像を見る必要性を感じました。

・事故について、１０月下旬に、薬が落ちていたとのことですが、その後の対応及び再発防止策を教えてください。

→薬を口に入れた際に落ち、床まで落ちてしまいました。１錠は見つけて服薬したので大丈夫と思い込み、床に落ちたことに気が付かなかったことが原因と思われます。

今後の対応策は、錠剤を口に含む際は必ず見守り、服用したかの確認の徹底を図るとともに、服薬チェック表の確認を徹底し、焦らないように行動することで再発防止を図ります。

はたやま地域包括支援センター職員から

・身体拘束なしで対応されていることがわかりました。苦情も０件なので利用者さん、家族とも関係が良いことがわかります。

避難訓練などの様子も機会があれば伺いたいと思います。

引き続き宜しくお願いいたします。

→ありがとうございます。避難訓練などの予定が決まりましたら連絡いたします。

柊訪問看護ステーション

リハビリ職員から

・訪問時穏やかに過ごされています。今後も身体機能や動作能力の評価を行い、環境の設定行っていきます。

→ありがとうございます。宜しくお願いいたします。

訪問看護職員から

・訪問時は、１週間の変化や様子を教えて下さるため、観察やアセスメントがしやすく助かります。これからも入居者様やスタッフさんが安心できる様、かかわらせて頂きます。

乾燥の強い時期ですので　温度調整や皮膚の保湿に気をつけて下さい。

→ありがとうございます。いつも機敏な対応や丁寧な指導にとても心強いです。

乾燥や、皮膚保湿に気を付けます。

入居者ご家族様から

・いつもお世話になりまして有難うございます。あかり通信をいただいて、たくさんの笑顔がありうれしく思います。ほんとうに感謝しかありません。

皆さんのおかげで、コロナや病気に無縁で過ごせてありがたく思います。

わがままな気の強い母ですが宜しくお願いします。
→あかり通信を楽しみにして下さり、ありがとうございます。
これからも笑顔あふれる様支援していきます。

（7）その他

・４月より、法定研修ｅラーニング研修を行っています。
職員間でより良い介護を目指し、共通意識と理解を深める機会を設けました。
また、職員のレベルに合わせたオンライン研修も取り入れ、各職員のレベルアップを目指しています。

次回開催予定　令和４年１月20日㈭　14：00～14：45